

2022年2月7日

各 位

会 社 名 株式会社K i p s
代表者名 代表取締役 國本 行彦
(コード：9465 TOKYO PRO Market)
問合せ先 取締役 林 高史
T E L 03-4590-6605
U R L <http://www.kips.co.jp/>

**当社が保有する営業投資有価証券評価損の計上及び
営業外費用計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2021年12月期（2021年1月1日から12月31日）の連結決算において、下記のとおり、当社が保有する営業投資有価証券評価損の計上及び営業外費用の計上並びに業績予想の修正をすることといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社が保有する営業投資有価証券の評価損の計上について

当社が保有する営業投資有価証券1銘柄につき、将来の収益性に鑑み回収可能性を検討した結果、16,244千円の減額処理を行います。

なお、当該銘柄は、当社において既に投資損失引当金13,869千円を計上しているため、今回の減額処理に伴い、新たに有価証券投資評価損2,375千円を当社の売上原価として計上いたします。

2. 営業外費用の計上の理由

2021年12月期（2021年1月1日から2021年12月31日）における当社の借入金に対する支払利息1,264千円を計上するものです。

3. 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円、%)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	81	△61	△62	254	63.98円
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考)前期連結実績(2020年12月期)	133	△2	△5	3	0.91円

連結業績予想数値の修正の理由

連結売上高については、イベント・メディア事業では増収となったものの、ベンチャーファイナンス事業において、当社及びファンドが保有する営業有価証券の売却額が前年より減少したことから81百万円となる見込みです。利益面については、上記「1. 当社が保有する営業投資有価証券の評価損の計上について」で記載したとおり有価証券投資評価損を売上原価に計上するほか、販売費及び一般管理費が前年より増加したため、連結営業損失61百万円を計上する見込みです。連結経常利益については、受取配当金を計上する一方、支払利息を計上し連結経常損失62百万円を計上する見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別利益として投資有価証券売却益を計上することにより 254 百万円を計上する見込みです。

以 上